

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業		所属部	教育委員会	所属課	社会教育課		
政策名	総合計画体系	(IV) ふるさを愛し豊かな心を育む教育と文化のまちづくり《教育・文化》	所属G	文化財・文化振興グループ	課長名	小川 浩		
施策名		(29) 地域文化の振興	担当者名	山崎 修	電話番号(内線)	0854-40-1300		
基本事業名	(088) 指定文化財の保護・保存	予算科目	会計	款	項	目	中事業	埋蔵文化財発掘調査事業
			01	510	215	410	01	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	文化財保護法に基づき、開発予定地等の埋蔵文化財の有無確認及び発掘調査を実施し埋蔵文化財の保護保存を図る。調査の必要に応じて分布調査、確認調査(試掘調査)、発掘調査を行う。	文化財保護法施行による。

(2) トータルコスト

		単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
① 事業費の内訳(概要)	事業費内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円			7,400		
		一般財源	千円	8,091	6,445	7,106	7,995	
		事業費計(A)	千円	8,091	6,445	7,106	15,395	0
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	1	
		延べ業務時間	時間	960	963	323		
		人件費計(B)	千円	3,661	3,744	1,273	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	11,752	10,189	8,379	15,395	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

① 主な活動	23年度実績(23年度に行った主な活動)	郡垣遺跡発掘調査、埋蔵文化財分布調査
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	開発に伴う埋蔵文化財発掘調査、埋蔵文化財分布調査

指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
⑤ 活動指標							
ア 発掘調査面積	m ²	270	316	158	300		
イ 発掘調査報告書	冊	1	1	0	1		
ウ 遺物実測点数	点	200	400	150	100		
エ							
オ							

② 対象(誰、何を対象にしているのか)	埋蔵文化財	⑥ 対象指標						
		ア 発掘調査の実施件数	件	1	1	1	1	
③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	開発予定地内における遺跡の性格を明らかにし、記録保存か、現状保存かを見極める。	イ 分布・確認調査の実施件数	件	52	43	25	30	
		⑦ 成果指標						
		ア 発掘調査の実施件数	件	1	1	1	1	
		イ 分布・確認調査の実施件数	件	52	43	25	30	
		ウ						
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	域の伝統文化や歴史遺産に関心をもち、郷土への誇りと愛着の心を培うとともに、次世代に伝えていく。	⑧ 上位成果指標						
		ア 歴史遺産や地域文化に関心を持っている市民の割合	%	60.4	59.5	57.3		
		イ						

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
携帯電話無線基地局設置のため、分布・確認調査が増えている。	特になし	特になし

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 開発と文化財保護の調整が図られている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 文化財保護法に定められた事業である
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 文化財保護法に定められた事業であり、対象が変わることはない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 発掘調査を担当する職員の資質向上のため、専門機関等での研修が必要。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 文化財保護法に反する。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 設問事項に該当しない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 遺跡調査支援システム等の導入
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 文化庁、島根県教育委員会が示した「埋蔵文化財発掘調査の基準」に基づいて進められる事項であり、発掘調査は直営で行わなければならない。 ・遺跡調査支援システム等の導入による、調査の迅速化。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 文化財保護行政は、第一に市民を対象とするが、根本は国民共有の財産の保護・保存のためのものである。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	報告書のパソコン編集ができる臨時職員雇用により、印刷経費を抑えることができた。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
業務の遂行に支障が生じない職員体制の整備が必要である。																							